

2016 南日本カップ社会人サッカーリーグ 入れ替え決定戦大会要項

1. 期日
2016年12月4日（日）
2016年12月11日（日）
2. 場所
2016年12月4日：県立鴨池緑地球技場
2016年12月11日：県立サッカーラグビー場B・C
3. 参加チーム
各地域リーグ代表10チーム（県リーグ参加希望最上位チーム）
（参加料は15,000円とし、本大会の代表者会議にて納入のこと）
4. 組み合わせ
①2016年11月27日（日）の本大会の代表者会議での抽選会にて決定する。
代表者会議
日時：2016年11月27日（日）午後6時 ※時間厳守
会場：鹿児島市鴨池公民館 **第2研修室**
（鹿児島市鴨池二丁目32番6号）
②本大会の代表者会議に欠席のチームは本大会の出場資格を失うものとする。
③本大会の代表者会議にはチーム内で決定権をもつ方が1名以上出席すること。
5. 競技規定
①試合は、2016/2017 公益財団法人日本サッカー協会競技規則による。
②試合開始前に登録された7名までの交代要員の内、最大5名まで交代が認められる。
③退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合に出場することができず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
なお本大会警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場することができない。
④上記③における試合の出場停止が、本大会で消化出来ない場合の取り扱いは、本大会の規律・フェアプレー委員会の決定に従うものとする。
⑤各所属地域リーグ終了時点での出場停止処分（退場・退席）が、消化出来なかった場合、残存の出場停止処分は本大会において、その処分を消化するものとする。但し、累積警告は持ち越されない。
⑥本大会で準決勝まで進出したチームは次年度のリーグにおいて、**鹿児島県3部リーグに所属する。**
6. 競技方法
①トーナメント方式とする。
②試合時間は70分間とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式により次回戦に進出するチームを決定する。
試合終了後、ペナルティーキック方式までのインターバルは3分間とする。
③2016年12月11日（日）の準決勝は、**ペナルティーキック方式により決勝戦に進出するチームを決定する。**
④2016年12月11日（日）の決勝戦は、ペナルティーキック方式により暫定的に優勝チームを決定する。
但し、⑤が開催された場合は⑤の成績を優先する。
⑤決勝は、2017年1月8日に行う予定。試合時間は60分間とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。但し、主催者の意向で試合時間の変

更や試合方式の変更をすることもある。

7. 参加資格
- ①2016年8月31日(水)までにKick Offにて申請し、その後登録手続きを完了し選手証を有している選手のみが出場できる。
 - ②1チームの大会登録人数は16名以上30名以下とする。
 - ③高校生(2種年代)の登録はリーグ戦同様3名までとする。
 - ④参加資格に違反、又はその他不都合な行為があった時は、そのチームの出場を停止することもある。その後の処置については、鹿児島県社会人サッカー連盟規律フェアプレー委員会の決定に従うものとする。
8. エントリー
- 2016年11月22日(火)午後6時までにwebからkick offの大会参加申し込みにより行うこと。
9. その他
- ①本大会の代表者会議の際にエントリーの確認を行うが、エントリー以降のユニフォーム・選手名・背番号の修正は原則認めない。なお、代表者会議終了後は一切の修正は認めない。
 - ②公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程及び南日本カップ社会人サッカーリーグ運営要項6、⑩に適合したものを登録し、試合に携行すること。なお、フィールドプレイヤー及びゴルーキーパーの正副ユニフォームは異なる色とする。また、登録したものが規程等に適合しない場合は、本大会の代表者会議の際に変更させることがある。(擬似が生じる場合は代表者会議の際に現物又は写真等を持参してください。)
 - ③ユニフォームの一部が揃わない選手は出場できない。
 - ④試合開始予定時間70分前までにメンバー表と公益財団法人日本サッカー協会選手登録証(写真貼付済み)を本部に提出する。試合開始予定時間60分前からマッチコーディネーションミーティングを行う。
 - ⑤メンバー表提出、マッチコーディネーションミーティング及び試合開始に遅れた場合は、いかなる理由があろうとも棄権扱いとする。その後の処置については、リーグ戦に準じる。
 - ⑥ベンチに着席できる人数は、チーム役員6名と交代要員7名の合計13名とする。
 - ⑦主催者は、参加者の負傷・疾病に対して一切の責任は負いません。なお、各自でスポーツ傷害保険等に加入しておくこと。参加者は健康保険証を持参することが望ましい。
 - ⑧主催者は、器物破損及び第三者の負傷等について、一切の責任は負いません。
 - ⑨会場及び施設の利用に関しては、マナーを厳守のこと。
 - ⑩本大会の規律・フェアプレー委員会は次のメンバーで構成する。
委員長 出口 敏朗
委員 窪田 健一 迫 裕一 北 信也 東 清秀

10. 付記

雷・台風等の自然災害時においては可能な限り限られた範囲内で最大限大会を実施する。実施不可能と判断される場合は大会本部と各種別競技関係者において対応を決定する。対応策がない場合は抽選で決定する。

連絡先

担当：佐田